

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
46 帝国	地図-432	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6 年 代表著作者 帝国書院編集部 斎藤 正義

1 日本の国土理解を深めるための7大特色

学びの質を高める工夫

特色 1

～正しい国土の認識を養うために～ 国土の全体像を明確にとらえられる

日本列島の位置、南西諸島の位置や距離の感覚、都道府県の名称と位置、日本の領土・領域を確実にとらえられ、学習指導要領で求められている「国土理解」に応えます。

①領域についてしっかり学べる「日本とそのまわり」(p.11-12)

- 日本の東西南北端、排他的経済水域、近隣諸国の名称・位置・国旗など、日本とその周辺の概要がとらえられるようにしました。
- 国の範囲がわかる模式図で、領域に関わる用語の理解を助けるようにしました。

②東西にも南北にも長い日本の姿がよくわかる「日本列島」(p.13-15,16-18)

- 縮尺 400 万分の 1 で、南西諸島から北方領土までの日本列島全体をカバー。高さで色分けし立体感を強調した等高段彩表現で、国土の地形の概要もわかるようにしました。
- わが国固有の領土である北方領土、竹島、尖閣諸島の写真を配し、地図の中でどの位置にあるのかを具体的に示しました。

③国土認識の根幹となる都道府県の学習を充実させた「都道府県の区分」(p.1)、「日本の都道府県」(p.2-3)

- 児童が開きやすい巻頭ページに基本的な都道府県別の日本地図を配し、常に振り返って確認できるようにしました。
- 47 都道府県の名称と位置を各都道府県の「有名なもの」と関連づけながら身につけられるようにしました。「有名なもの」は本書に記載されている事項から選び、地図帳本体の図中や統計などから探せるよう、関連ページを付しました。

特色 2

～地域への愛着をはぐくむために～ 風土・生活・産業・伝統文化を豊かに表現 人々の営みがわかる土地利用表現 伝統がいきづく旧市町村名

日本の地方別の地図は、土地利用表現や絵記号を採用し、豊富に掲載された主題図からも自分の住んでいる地域の人々のくらしや風土がわかります。郷土の学習で活用できるよう、市町村合併前の旧市町村名も掲載しています。

①人々のくらしがすべての都道府県でわかり、比較もできる 100 万分の 1 の地図、50 万分の 1 の地図

- ほとんどの地方を 100 万分の 1 の縮尺でカバーしています。また大都市の周辺部には 50 万分の 1 で統一した詳細図を設けました。両方の地図は共通の凡例にしているので、地域間の比較も容易に行えます。

②学習に最適な美しく読みやすい地図表現土地利用表現、山の陰影

- 市街地・田・畑などがわかる土地利用表現と地形のわかる高さで色分けした表現、起伏を表す陰影を併用し、地形と人々のくらしが読み取れます。

③伝統文化や特産品に結びつく旧市町村名を掲載

- ・郷土の学習に資するよう、平成の大合併でなくなった旧市町村名は、^{あざ}字名で記載しました。
- ④地域の産業が読み取れる**絵記号（農産物、工場、伝統的工芸品など）や各種記号**
- ・農産物や、大きな工場、伝統的工芸品の絵記号のほか、新幹線、高速道路、発電所などの記号から、地域の産業の特色がとらえられるようにしました。

基本が正しく学べる配慮

特色 3

～初めて手にする地図帳として～ 地図帳の使い方など資料活用能力が着実に身につく

地図の成り立ちや地図記号の理解、さくいんの引き方などの、「地図の使い方」に関する内容を充実させています。確かな学力の基礎となる資料活用能力を養えます。

- ①地図を活用する能力が発達段階に応じてしっかり身につく「**地図のなりたちとやくそくごと**」(p.5-6)
 - ・大阪府柏原市を事例にして、地図のなりたちや方位・高さ・記号・縮尺などのやくそくごとを説明しています。
- ②記号や色、さくいんなど、資料活用能力が確実に身につく「**地図帳の使い方①②**」(p.7-8,9-10)
 - ・①では、大阪府を事例に、本書で用いられている記号や表現を学習できるようにしました。さくいんの使い方もわかりやすく説明しています。
 - ・②では、新潟県を事例に、400万分の1の地図と100万分の1の地図の記載事項と活用方法を示しました。

特色 4

～学びへの配慮として～ カラーバリアフリーに配慮 「とめ」「はね」「はらい」が正しい書体を使用 すべての地名にふりがなを付記

色覚に特性をもつ児童をはじめ、すべての児童が学びやすいよう、色彩表現を工夫しています。地名表記も、国語で学習する「とめ」「はね」「はらい」が正しい書体の漢字を使用しています。

- ①すべての児童が正しく学べることをめざした**見やすい色彩表現、正しい書体**
 - ・赤色文字の都道府県名や国名は、**黒色で縁取り**をして読みやすくしています。田や畑の緑色が鮮やかになるよう、専用インクであるクサ色（緑色）を用いた**5色印刷**をしています。
 - ・地名などの漢字は、「とめ」「はね」「はらい」が正しい、国語で学習する字形を用い、一部の地名は自治体が定めた正式な漢字で表記しています。すべての漢字地名にはふりがなを付しています。

子どもの知りたい気持ちにこたえる工夫

特色 5

～グローバルな視点を養うために～ 世界への関心を引き出し、異文化理解の基礎知識が身につく

英語学習への対応や、2020年東京オリンピック・パラリンピックなど国際交流の機会の増加に向けて、英語地名やすべての国の国旗などを掲載しています。

- ①「六つの大陸と三つの海洋」、地球儀の活用がわかる「**私たちの地球**」(p.51-52)
 - ・六つの大陸と三つの海洋の大きさや位置をとらえられるように、大陸別に色分けした世界地図に海洋の名称を記載しました。
 - ・地球儀を正しく有効に活用できるように、地球儀の特徴・使い方を解説するコーナーを設けました。
- ②視点と縮尺を統一して世界全州をカバーした**世界の基本図**
 - ・縮尺4000万分の1で統一した「アジア・オセアニア」「ヨーロッパ・アフリカ」「北アメリカ・南アメリカ」

の地図から、世界の地形の概要がつかめるようにし、各国の国旗も掲載しました。

③異文化理解に向けた世界への関心を引き出す**世界の拡大図**

- 基本図よりもさらに拡大した「アジア」「ヨーロッパ」「アメリカ合衆国」の地図では**国別に色分けした表現**にして、国や州の形や位置関係がわかるようにしました。
- 音楽科や国語科なども意識して各国の特色となる自然・産業・文化のイラストを記載し、異文化理解の助けとなるようにしています。「アメリカ合衆国」では州名とおもな都市名に英語表記を取り入れ、英語の学習での活用にも配慮しました。

特色 6

～防災への意識を高めるために～ **災害での身の守り方や各地の防災の工夫が学べる**

地図帳を参考にした「防災マップ」づくりができます。自分の住んでいる地域で災害が起きた際に、児童がどのような行動をすればよいかを考えることができます。

①災害での身の守り方を実践的に考えさせる「地震・火山の災害と防災」(p.82-83)

- 地震や火山の分布図から、世界的に見ても日本は地震や火山の災害が多い国であることがとらえられるようにしました。
- 児童が住む地域の防災マップを作成する活動に取り組めるよう、防災マップを例示して、作成のプロセスや留意点を示しました。また、地図から読みとり、災害時の身の守り方を考えることができるようなヒントを示しました。

②各地のさまざまな防災の工夫が学べる**地域の主題図「洪水へのそなえ」(p.34)** など

- 各地の防災に関する主題図を充実させました。一部は鳥瞰図でビジュアルな表現を取り入れています。

特色 7

～児童の「もっと知りたい！」にこたえるために～ **同縮尺で比較できる主題図を豊富に掲載** **江戸と東京の比較も同縮尺でできる**

4年生から6年生へと学習の積み重ねが生きてくるよう、自然・環境・歴史などの主題図は同縮尺で比較して理解できるようにしています。

①同縮尺で比較できる豊富な主題図「日本の自然のようす」(p.65-66)、「日本の産業のようす」(p.67-68)、「日本の歴史」(p.69-70)

- 日本全体の地形、気候、農業、工業の概要が読み取れ、各テーマを関連づけて学習できるよう、同じ縮尺で統一した図で表現しました。
- むかしの境界、地名の地図と、現在の都道府県に歴史の舞台を示した地図を同縮尺で並べ、地名や境界の比較ができるようにしました。また年表と地図の対比から、日本の歴史の大きな流れを空間的にとらえることができます。

②東京23区の「現在」と「歴史」がわかる「**東京都の中心部**」「**江戸**」(p.39-40)

- 現在の東京都の中心部を10万分の1の地図で詳しく取りあげ、テレビ局や大使館、新聞社などが集中する特色を示しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックのおもな会場予定地も掲載しています。
- **同縮尺の江戸の地図**(江戸時代末ごろ)を現代の東京の地図のとなりに配置して、市街地の広がりや現代に残る史跡など、時代による変化を読み取れるようにしました。

③**全市町村名を掲載し**、調べ方もていねいに示した「**おもな地名のさくいん**」(p.76-81)

- 「日本の部」では、すべての市町村名を取りあげ、「町」「村」の読みまでわかるように記載しています。
- 国名のさくいんは「世界の国別統計」(p.75)にも記載して、「世界の部」と合わせてすべての国をカバーし、他の地名も充実させました。

2 地図帳全体に関わる工夫点

観点	特色項目	具体的な特色
表記・表現の配慮	人々のくらしが見えてくる地図表現	• 日本全国を人々のくらし、営みがわかる土地利用表現と土地の高さごとに色分けして地形がわかる等高段彩表現を合わせた地図表現にしています。
	立体感のある地図表現	• 地形のようすととらえやすくするよう、 等高段彩表現と陰影表現をあわせた立体感あふれる地図表現 を用いています。
	読み取りやすい文字・記号	• 都道府県の名称と位置、都道府県の形、都市と産業、地域の結びつきを正しく把握できるよう、記号や文字をくっきりと記載しています。
	国語で学ぶ書体・正確な漢字	• 全ページにおいて、 国語で学ぶ「とめ」「はね」「はらい」が正しい書体 を使用し、児童が混乱を起こすことがないようにしています。
	正しく地名を読むためのふりがな	• 地名を正しく読めるように、すべての 地名にふりがな を付しています。
地図帳の活用が身につく工夫	色覚特性への配慮 (カラーバリアフリー)	<ul style="list-style-type: none"> • 学習上大切な都道府県名や国名、都道府県庁所在地や首都名は、他の地名よりも太く大きな文字を使用し、読みやすくしています。 • 赤色文字の都道府県名や国名には黒色でふちどりを付して読みやすくしています。 • 国道などの主要な道路は、はっきりと読み取れるよう、黒色の二条線で記載しています。 • 土地利用ごとに色分けした、緑系の田・畑、赤系の果樹園には模様を入れ、判別しやすくしています。
	地図帳の使い方・地図を使ったまとめ方 (防災マップ)	<ul style="list-style-type: none"> • 地図の有用性を理解し、本書を有効活用するとともに、将来にわたって地図活用の技能を生かせるよう、「地図のやくそくごと」「地図帳の使い方」を重視して巻頭に配置しています。 • 学んだことや調べたことをまとめ、発表する力を身につけさせるために、地図(防災マップ)にまとめる作業手順を示しています。
	見やすく探しやすいさくいん・さくいん記号	• 都道府県名・国名は赤色文字、都道府県庁所在地名・首都名は青色文字で記載し、見つけやすくしています。また、日本の各地名には「市」「町」「村」「字・旧市町村」「歴史地名」「世界文化遺産」「世界自然遺産」の記号を付して、地名の種類がわかるようにしています。
配列・構成	地図の着目点を示唆する「キャラクター」	• 各ページ・各図で大切なポイントは、 児童の視点に立ったキャラクター のセリフによって示唆したり気づかせたりして、児童がおのずと着目したり考えたりできるようにしています。
	扱いやすく読み取りやすい判型 (A B 判)	• 効率よく地理的な位置関係や地域間の結びつきをとらえられるよう、 ワイドでありながら机に載りやすいコンパクトさを両立した判型「A B 判」 を採用しています。
	学習しやすい配列	• 「日本列島を見わたす地図」→「日本の地方別の地図」→「世界地図」と配列し、50万分の1の「くわしい地図」は「地方別の地図」の該当箇所挿入しています。これにより、 地域間の比較がしやすくなっています 。
	統一された縮尺	<ul style="list-style-type: none"> • 日本の国土全体を見わたせる地図は縮尺400万分の1、日本の各地方の地図は、原則として100万分の1、都市圏図などは50万分の1で統一し、地域のようにすを比較しやすくしています。 • 同様に、世界のすべての州を、赤道の真上からの視点でとらえ縮尺も4000万分の1で統一しています。
	すべての都道府県の拡大図を途切れることなく掲載	• 日本の拡大図(「地方別の地図」「くわしい地図」)で日本全国をカバーし、すべての都道府県をとぎれることなく見られるように構成しています。
印刷・製本	隣接地域地図ページ記号	• 「見わたす地図」「地方別の地図」では、隣接地域の地図が何ページにあるかを記号で表示し、高速道路やフェリー航路を指で追うときなどでも簡単に隣の地図を見つけられるように工夫しています。
	美しく鮮明な印刷	• 地図・写真を美しく鮮明に表現するために、地図専用の特殊な用紙を使用するとともに、 クサ色(緑色)の専用インクも加えた多色刷り(5色) で印刷しています。
	地球環境への配慮	• 環境問題に配慮して、全ページに再生紙と植物油インクを使用しています。
	丈夫な製本	<ul style="list-style-type: none"> • 表紙には、引きさき、引っ張り、折れなどに対して耐性の強い用紙を特別に抄造し、さらに表面の摩擦や汚れを防ぐためにポリプロピレンシートをはっています。 • 製本はページの落丁を防ぐために糸かがりの方法を用いるとともに、背に「寒冷紗」という布を巻いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な製本仕様としています。
印刷・製本	折り込みページの補強	• 長期間の使用に耐えられるよう、3ページ大の 折り込みページの折り目部分の表面をコーティングして補強 し、折り込みページが切れ落ちることがないように配慮しています。

③ 教育基本法と本書の関連

教育基本法 第2条	特に意を用いた点や特色（ページ）
第1号	日本の国旗と日本の領域をわかりやすく示しています。日本の領域が理解しやすくなるよう、日本の東西南北端の写真を併置しています。(p.11-12)
第2号	資料活用能力が着実に身につくよう、「地図のなりたちとやくそくごと」や「地図の使い方」に関する内容を充実しています。(p.5-8)
第3号	読図を助けるために用いた男女の児童キャラクターは、ほぼ同数登場するようにしています。(本書全体)
第4号	「貴重な動物・植物」「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」などを記載しています。(p.13-50)
	「環境のまち北九州市」(p.21 ②)「釧路湿原のようす」(p.48 ④)など、環境をテーマとして取り上げた地域主題図を適宜掲載しています。 風力発電や地熱発電、太陽光発電などによる、自然エネルギーを使用した大規模な発電所がわかる記号を設けています。(p.13-50)
第5号	「高地のくらしーハケ岳山ろくの野菜づくりー」(p.31 ②)「自動車生産のようすー豊田市のまわりー」(p.34 ③)など、産業と生活に関わる地域主題図を随所に掲載しています。
	学習上重要な歴史地名や世界文化遺産をそれぞれ青色と緑色の反転文字で端的に示しています。また、それらの理解を助けるための写真を随所に掲載しています。(p.13-50) 「江戸」の地図と「東京都中心部」の地図とを同縮尺で併置し、比較を通して現在に伝わる江戸時代の建物や文化などが理解できるようにしています。(p.39-40)

④ 学習指導要領と本書の関連

	学習指導要領の内容	本書の内容（ページ）
第3および第4学年	(1)	地図のなりたちとやくそくごと (p.5-6), 地図帳の使い方①② (p.7-8, p.9-10)
	(2)	あたたかい地方のくらし (p.25-26 ③), 自動車生産のようす (p.34 ③), 日本の産業のようす (p.67-68), 都道府県別の統計 (p.73-74 ⑦), おもな農作物の生産 (p.73 ⑧), おもな工業製品の生産 (p.74 ⑨)
	(3)	空から首都・東京をながめてみよう (p.41-43), 都道府県別の統計 (p.73-74 ⑦)
	(4)	神戸市付近のようす (p.27 ②), 洪水へのそなえ (p.34 ②), 台地の洪水へのそなえ (p.41 ②), 空から首都・東京をながめてみよう (p.41-43), 地震・火山の災害と防災 (p.82-83)
	(5)	江戸 (江戸時代末ごろの東京) (p.40 ②), 日本の歴史 (p.69-70)
	(6)	都道府県の区分 (p.1), 日本の都道府県 (p.2-3), 地図帳の使い方①② (p.7-8, p.9-10), 日本列島 (p.13-15, p.16-18), 日本の各地方の地図 (p.19-50), 京都盆地 (p.29 ②), 奈良盆地 (p.29 ③), 江戸 (江戸時代末ごろの東京) (p.40 ②), 空から首都・東京をながめてみよう (p.41-43), 東京都の島々 (p.43 ③), 世界の各国の国旗 (p.54-62), 日本の自然のようす (p.65-66), 日本の産業のようす (p.67-68), 都道府県別の統計 (p.73-74 ⑦)
第5学年	(1)	宇宙からながめた日本列島 (p.4), 日本とそのまわり (p.11-12), 環境のまち北九州市 (p.21 ②), 高地のくらし (p.31 ②), 洪水へのそなえ (p.34 ②), 東京湾の埋立と残された自然 (p.38 ②), 台地の洪水へのそなえ (p.41 ②), 網走付近のようす (p.47-48 ②), 釧路湿原のようす (p.48 ④), 私たちの地球 (p.51-52), 日本の自然のようす (p.65-66), 地震・火山の災害と防災 (p.82-83), 世界の国々 (p.84-86)
	(2)	鳥取砂丘のようす (p.24 ⑥), あたたかい地方のくらし (p.25-26 ③), 高地のくらし (p.31 ②), 気仙沼付近の漁業のようす (p.44 ②), 畑作のようす (p.48 ③), 日本の産業のようす (p.67-68), 日本と世界の結びつき (p.71), 都道府県別の統計 (p.73-74 ⑦), おもな農作物の生産 (p.73 ⑧)
	(3)	自動車生産のようす (p.34 ③), 日本の産業のようす (p.67-68), 日本と世界の結びつき (p.71), おもな工業製品の生産 (p.74 ⑨)
	(4)	東京都の中心部 (p.39-40)
第6学年	(1)	京都盆地 (p.29 ②), 奈良盆地 (p.29 ③), 江戸 (江戸時代末ごろの東京) (p.40 ②), 日本の歴史 (p.69-70)
	(2)	東京都の中心部 (p.39-40)
	(3)	日本とそのまわり (p.11-12), 広島市のようす (p.24 ③), 日本と世界の結びつき (p.71), 世界のおもな国々と日本の結びつき (p.75 ⑩), 世界の各地域の地図 (p.53-64), 世界の国々 (p.84-86)